

山びこ学校 (1952)

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 B&W
初公開日 1952/05/01
公開情報 北星

【解説】

無着成恭による山形県山元村中学校の文集『山びこ学校』を元に、八木保太郎が脚本を書き今井正が監督を担当した学園ドラマ。

貧しい寒村である山形県山元村では、多くの村人が懸命に働いて生きていた。中学校の生徒も家の手伝いで学校を欠席することが多い。しかし中学校の教員である無着成恭は、そんな生徒たちを温かく見守り続けた。最後の修学旅行に行けない生徒がいて、他の生徒が働いて旅行費を捻出した。江一は母が心臓病を患ったものの医者に見てもらった金がなく、母親を失ってしまう。学校を辞めて働きに出ようとするが、クラスメートは江一の家の手伝いを手伝い、彼を卒業させようとするのだった。

【クレジット】

監督 今井正
脚本 八木保太郎
撮影 伊藤武夫
出演 木村功
滝沢修
東野英治郎
岡田英次 Eiji Okada
杉葉子